

令和5年度 関市スポーツ推進審議会 議事録（要約）

日 時：令和6年2月7日（水）14時00分～

会 場：アテナ工業アリーナ 2-2会議室

参加者：名簿のとおり（欠席1名）

1. 開会あいさつ（協働推進部長）

（協働推進部長）

第2期関市スポーツ推進計画は令和4年度が計画初年度となる10年計画として策定しました。今年で2年目となるが、本日の関市スポーツ推進審議会においては進捗状況の管理、施策の選択等を審議していただきたい。皆様の忌憚のない意見をお願いします。

2. 会長あいさつ（喜久生会長）

（会長）

関市のスポーツ推進に意見の出来る貴重な場ですので、皆さん忌憚のない意見をお願いします。

3. 委員の紹介

今年度からの委員の交代

関市自治会連合会 書記 野口 正人 → 黒井 秀雄

関市小中学校長会 会長 奥田 浩順 → 三島 寿美子

4. 議 題

（1）第2期スポーツ推進計画の点検と評価について
事務局より説明

（2）部活動の地域移行について（進捗報告）
事務局より説明

【意見・質問】

（会長）

関市スポーツ推進計画の中では一番労働をしている20～40代の方が一番（スポーツ実施率が）少ない。いかにこの年代（のスポーツ実施率）を上げていくか。そこが指導者として活動していただける（方を増やす）鍵になろうかと思われまので、いかにここを引っ張り上げるかというのが一番大事だと思います。そのためには、私の考えは、いろいろなスポーツイベントで、働いていて子どもを持つ若い世代の人たちを、必死に参加させるイベントを設けるべきではないかと思う。一度参加してみると、スポーツの楽しさが分かり、もう一度参加してみようとなる。親子参加型のイベントを作る。もしくは企業参加型のイベントを作る。関市スポーツ協会主催の玉入れ大会もそうなんですが、いかに企業に参加させるかというのをやっており、関市のいろいろなイベントでも、若い世代や企業を巻き込んでいくことにより、さらに将来的にはその人たちが、指導者になっていくようになると思いました。

(委員)

私はママさんバレーをやっており、今までは会費が500円だったのが3,300円に上がった。その費用は全国から来る役員（旅費）になる。そのあたりは嫌だと思いつつ、それでもバレーを続けたい。ママさんバレーの行事の一つに「ま～みん Festa」というのがあり、去年は沖縄であった。そのイベントは誰が参加してもよくて、初めてバレーをする人も男性も来る。そういうイベントを関で開催できれば関市のバレー人口も増えるのではないかと思う。そのことをバレーボール協会に相談したこともある。先ほど会長がおっしゃられた通り、いろんな人が楽しめるイベントが開催できるとよい。（ま～みん Festa で）一番面白かったのは、全国から集まってきた人が、前夜祭で知らない人同士、衣装やパフォーマンスを相談したりすることでした。私たちはラインの数が一番多く特別賞をいただいた。それもいい思い出。次は淡路島であり、最高齢は80歳代の方がいて楽しめた。そういう楽しめるイベントが関市で開催できるとよい。

それと、私はスポーツ推進委員ですが3月で（関市スポーツ推進委委員の）改選であり、各地域で推薦があり3名の方が出てくる。地域によっては会議にでるだけでいいからと説明し推薦が出される。あと3人全員が1度の改選で変わってしまったりする。そのようになると、スポーツ推進委員の活動に支障をきたすので、地域での推薦の際はご考慮いただきたい。

(委員)

今の話で、自分の地域の推薦も3名と聞いており、現在推薦されている方2名の承諾は得ました。もう一人新しい人材を探さないといけないと思っています。

先ほどの話（議題(2)部活動の地域移行について（進捗報告））を聞いて、自分の息子も昔クラブチームに入っていた。息子の希望に沿って自分も納得してクラブチームに入ったが、お金がものすごくかかることにびっくりしました。頑張ってくれたのでうれしいのですが、その位（30年ほど前）からクラブチームが流行ってきたのですかね？

(委員)

スポーツ推進委員のメンバーの中にも、（自身の子どもが）中学校で野球を始めるけど、関市にはクラブチームがないから坂祝町のチームに入れると聞いた。どんどんいい子（スポーツができる子）が他の地域に行くことが惜しいと思う。

(委員)

その方に関しては、全国のスポーツ推進委員の大会にも出られた方だが、子どもの送り迎えやクラブチーム活動のサポートをしないといけないため、スポーツ推進委員の活動が制限され非常に惜しい。

(委員)

もっと近くの関市の中にもそのようなクラブチームがあればいいのになと思う。

(会長)

関市でも（そのようなクラブチームは）出来るのではないのでしょうか。

〇〇（委員）さんに質問です。関市スポーツ協会では本年度、カローリングや玉入れの大会を開催しました。自治会単位でも何チームか出てくれたらとは思いましたが、そのようなお声かけは出来るのでしょうか？

(委員)

（動員は）やれますが、私がどこまでやっていいのかお声かけがないためわかりませ

ん。

(委員)

先ほど((1)第2期スポーツ推進計画の点検と評価についての関市公式 Youtube「在宅運動支援動画」)再生数の件についてお話がありましたが、スポーツ推進委員もインスタグラムをやっておりますが、今一番再生数が多いのは昨年開催された、スポーツ協会主催の玉入れ大会です。関心度が高いのだと思います。親子で運動することは皆さん楽しいのだと思う。

(委員)

3つ意見があります。

1つ目はスポーツ施設を利用するとき、せきとる net で予約をするのですが、予約を取るまでは簡単にできますが、変更しようとするときに使いづらさを感じる。私ですらそうなので、もっと高齢の方は net で予約を取るということで、(スポーツをすることに)一歩気が引けてしまう。(インターネットが)苦手な50・60代の方はそこでためらいがあったりして、便利になったという人がいる反面、不自由になったという人もいます。そして、がんばって(せきとる net を)使おうと思っているときに、使いづらさを感じるようなせきとる net では駄目ではないかと思う。誰でも使える使い勝手の良いものにしていただきたい。

2つ目は先ほどの事業計画の説明の中でも、スポーツ推進課の皆さんが頑張っているいろいろな事をやっていることはよくわかった。普段、私が事務室にお伺いするときも皆さんお忙しそうにしている。その中で色々なイベントを手掛けていると思いますが、(そのスポーツが)好きな人や愛好家を増やしていこうとすることはかなり難しいと思います。例えば、バスケットボール教室を開き子どもたちが50人集まったとしても、その子供たちはもともとバスケットボールが大好きな人たちで、バスケットボール教室を開いたからと言って愛好家が増えるわけではない。だから、(好きな人や愛好家)を増やそうとするときに、どのような手立てが必要なのかは考えなくていけない。むしろバスケットボール教室に来ない子へのアプローチを考えなくては、愛好家は増えないので、そういう視点で施策を行ってほしい。

3つ目は、私は今年スポーツ協会100周年記念誌「軌跡100」の作成をしましたが、その中で中部学院大学でバスケットボールをやっていた「杉本憲男」さんが今、プロバスケットボールチーム「岐阜スワープス」で選手兼ヘッドコーチをやってみえる。また、その方は幼児教育にも精通している。有名なスポーツ選手とかを呼ぶことも大事だが、(杉本氏のような)そういう関市に縁のある方で(運動と幼児教育に)造詣の深い方の存在を大事にしていきたい。

(委員)

スポーツ推進審議会委員をやらせていただいて、年1~2回の会議で関市の現状が非常にわかるためいつもありがたいと思っている。色々な事業計画を聞いて思ったのが、最初に出てきた動画(在宅運動支援動画)ですが、関市民の健康意識が高まるように作ってくださいと依頼され、ゼミの生徒たちが作成していると思いますが、私から見ると、あれ(在宅運動支援動画)は(中部学院大学の)学生が一番の学びになっていると思います。本当にこれはみんなが視聴し再生回数が伸びればいいなと思いますが、実際に学生が動画を作成している様子を見てみると、「関市民に見せなくてはいけない」と、彼らも1人1人が苦勞して取り組んでいた。本当にいい学びが出来たと思うし、そのような機会を与えていただけたと思っている。あと、こちらから(委

員の)お話のあった、(杉本氏)彼は私の教え子で、大学時代からバスケットボールを一生懸命やっていたし、彼がプロになる前に幼児体育のところで、子どもたちにスポーツを教えたいとの思いがあった。だから彼は一度そういうところ(幼児体育関係)のところに一度就職してそれからプロ(バスケットボール)になった。実は本学の学生でも大学まで来てスポーツをやりたい。大学卒業したらプロになりたい。スポーツ活動が続けられる場所に就職したい学生もいる。また、指導の勉強がしたい。指導者になりたいという子もいる。各種目の指導者の資格を取るといことはすごくお金がかかる。また、せっかく資格を取っても活躍する(指導する)場所がないという人が多い。前にも言ったかもしれませんが、関市スポーツ協会でもいろいろな資格を持っている人がたくさんいるにも関わらず、(その資格を持って)活躍しているのか、活躍の場があるのかといった時にその場所がない。結局、(資格の)更新をするために、毎年お金を取られて、それが大変だし、教える場がないのであれば(その資格を)放棄してしまう。私もその一人である。そのような人たちを上手に使うことも大切だと思います。そのようなシステムがあればいいと思います。

あと、これから地域に部活動が出ていくということは、少子化や現場の教員の負担軽減という考えもわからないわけではないが、やっぱりやる側(スポーツをする側)がどういう思考でやるか。強くなるため、勝つためにやる人もいれば、本当に楽しんでスポーツをやりたい人もいる。そこは区別しないといけないと思う。楽しんでスポーツをやるなら、学校でも出来ると思う。しかし、強くなりた、いい選手になりたい、国際大会に出たいとなると、自分でお金を投資したり、保護者がお金を払って、スポーツはお金が掛かるものだと思って、お金を掛けてやればいいと思う。ただそれは学校では出来ないと思う。やっぱり区別をして、どういう思考でスポーツをするのか、本人の意思で、やろうと思った時にいろんな選択肢があることが理想だと思う。

(委員)

まず、大谷翔平のグローブが関市の各小学校に届き始め、わが校にも届きました。うちの学校は小規模校なので体育の時間にみんなで使っております。大変軽くて使いやすく、喜んでおります。

部活動の地域移行は大変ありがたいことだと思っております。もうすでに、土日の部活は辞めている学校もあります。今後課題になってくることとして、合同でチームを作ることは時代の流れとして避けられないと思っておりますが、今、関市内だけでなく、美濃市の学校との合同チームを作っている学校もあります。この間役員会で話題になったのが、その学校の生徒が過半数に満たない、下手したら(関市の学校の生徒が)1人で、他が美濃市の学校の生徒としたとき、どのような運営の仕方をお願いしていくのかというのが今後の課題になってくると思う。子どもの数が激減していく前に、中学校の校長先生も相談していただけたらと思っております。今回の(部活動の)地域移行について、現在の小学校6年生については、各中学校の入学説明会で説明してもらってます。あわせて今後かわってくる小学校5年生については、小学校の方でチラシを配りながら、機会があれば説明をしていくという取り組みをしております。

スポーツ推進課にお聞きしたいのですが、令和7・8年度の体育館(アテナ工業アリーナ)の大規模改修について、この期間(工事期間)体育館が使えなくなることにについて、出来るだけ早くアナウンスしていただきたい。例えば小学校だったらここへ(アテナ工業アリーナ)見学に来るとい授業もありますので、その計画を立てるためにも、早めにスケジュールを教えてください。

(委員)

一つ思うのが、もう少子化の流れというのは我々の力だけでは何ともならないと思いますので、発想を変えて量より質も求めたほうがいいのかなと今日の会議を通して思うようになりました。関市スポーツ少年団も現在 39 団ありますが、昔は 60 団以上あり、年々団員が減り現在に至ります。今後も団員が減り続ける現実があるが、その中でもスポーツに興じる子がいて、その子たちがスポーツを通じて成長する過程が情報発信になっていけば、私の勝手な妄想ですが、スポーツ先進市に関市が成れたら、関市に行けばスポーツが盛んで子どものために関市に移住しようかという人も出てくるかもしれない。先ほど女子野球の方（堀田ありき選手）の紹介もありましたが、そういう選手が将来的に（関市から）たくさん出てくると、スポーツの盛んな関市として人口も増えて盛り上がっていくのではないかと思う。

(委員)

スポーツ推進委員会では、月に 1 回土曜日の午後、月に 2 回木曜日の夜に体育館（アテナ工業アリーナ）にてスポーツをやってもらうように開放しています。それは誰でも参加できます。バドミントンでも卓球でも。それは（木曜日の開放）夜なので、先ほど話題にもあった、働いている方が小さいお子さんを連れて、スポーツをやりにみえて、バドミントンに触れるとかミニテニスに触れるとかをして、（そのお子さんが）学校に行って、昨日体育館でスポーツをしたとかを話題に出したり、土曜日とかはこの前は玉入れの練習をしたりとかやっていたけど、それをまた学校に行って話して、スポーツの出来る環境づくりや話題作りのお手伝いになればいいと思っています。繋がっていくといいなと思っています。

(会長)

すごくいいことをしていると思いますが、私も知りませんでした。もっと宣伝できるといいですね。

(委員)

SNS で拡散もしていますし、チラシも作っております。

(会長)

企業とかにも周知できるといいですね。

(事務局)

色々参考にさせていただきます。

(会長)

Web の予約の件（せきとる net）について、関市民ばかり（の予約）ではないんでしょう？僕は関市民ファーストだと思います。市民以外の方が予約してきたときはどうしているのでしょうか？

(事務局)

基本的には制限（区別）はございません。抽選予約については一部制限（区別）をしております。関市民優先とさせていただいております。

(会長)

施設使用料については差（市内と市外）は付けていますか？

(事務局)

施設使用料の差はございません。

(会長)

当然、差（市内と市外）を付けてしかるべきだと思います。関市のお金で運営して

いるのでしょうか？関市民は無料だけど関市民以外は倍の使用料にするとか。

(事務局)

利用施設にもよりますが、学校開放で言えば関市民の団体しか利用することは出来ません。いまおっしゃっているのはアテナ工業アリーナのことかと思われませんが、この施設自体が中濃地域のスポーツ拠点となっておりますので、検討が必要です。

(会長)

中濃地域の拠点は分かりました。例えば(中池の)テニスコートとか、沢山の市外の人が予約をして、市内の人が予約できないと聞いたことがある。

(事務局)

(中池の)テニスコートは今では(せきとる net の)抽選機能がありますので問題はないかと思われます。

(委員)

中池(テニスコート)に関しては(せきとる net の)抽選機能が出来てからずいぶん優遇されるようになりました。前は全然取れなかった。

(委員)

体育館(アテナ工業アリーナ)の指定管理はトヨタがやっていますが、多分5年後に代わりますよね？たまたま指定管理者がトヨタであるおかげで、恩恵を受けている(アンテロップスバス教室等)と思いますが、そういうのはどんどん活用したほうがいいと思います。また、指定管理が変わったからと言って、その事業がなくなるというのは非常に残念である。何とか市民の皆様には好評なイベントに関しては継続できるためには何が必要なのか考えていく必要があると思う。

(事務局)

皆様にいろんな意見をお聞きして、すぐにできることや、すぐにできないことがあるかと思いますが、今出た意見を本庁の部局にも話をして、変えれるところは変えて、少しでもスポーツに興味を持っていただいて、健康になっていただけるよう勧めたいこうと思っておりますので、貴重なご意見ありがとうございました。

6. その他

(事務局)

来年度もこの会議(関市スポーツ推進審議会)を開催する予定でございますが、今年度で2年任期が終わり、来年度新しく委嘱しなくてはいけないのですが、委嘱させていただいてよろしいでしょうか？また、事務局案なのですが、地域スポーツクラブの代表としては現在倉知スポーツクラブから選出させていただいておりますが、来年度はほほえみスポーツクラブ(上之保)から選出依頼をさせていただいてよろしいでしょうか？この後、会長とまた相談させていただき、審議員数は10名程度とありますので、追加委員の提案がありましたら選出させていただきます。

6. 閉会あいさつ(川嶋副会長)

(副委員)

私の個人的な考えとしては、今日いろいろな意見を聞きながら、スポーツをやりたい人がいる、スポーツを指導したい人がいる2者がどうしてマッチングできないのかと思ひまして、情報技術を利用してなんとかその辺をつなげるような、例えばTVを見てみると、料金の比較サイトとか出ていますよね？あんな感じで関市の中で行われ

るいろいろなスポーツ、それこそ学校の運動会やらスポーツ少年団の活動やらそういった情報が「ここにアクセスすればわかる」とかそういうのがあれば助かる。それで一歩前に進めると考えていた。そんな日がいつか来ることを願っております。本日はありがとうございました。